

令和7年度

高齢者帯状疱疹予防接種のお知らせ

1 令和7年度対象となる方は、清水町に住所を有する方で(1)～(2)の方

(1) 令和7年度に下記の年齢になる方

年齢	生年月日
65歳	昭和35年4月2日生～昭和36年4月1日生
70歳	昭和30年4月2日生～昭和31年4月1日生
75歳	昭和25年4月2日生～昭和26年4月1日生
80歳	昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生
85歳	昭和15年4月2日生～昭和16年4月1日生
90歳	昭和10年4月2日生～昭和11年4月1日生
95歳	昭和 5年4月2日生～昭和 6年4月1日生
100歳以上	大正15年4月1日以前生

(2) ヒト免疫不全ウイルスにより、免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方。

※これまでに帯状疱疹ワクチンを接種したことがあり、再度接種を受ける必要がないと医師が判断する方は、予防接種の対象外とします。

※(1)の対象者は、来年度以降は定期接種の対象となりません。

2 接種期間 令和7年5月15日から令和8年3月31日

3 ワクチンの種類 生ワクチン、組換えワクチンのいずれかを選択して接種

4 接種回数及び接種費用

ワクチンの種類	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK 社）
接種回数 （接種方法）	1 回（皮下に接種）	2 回（筋肉内に接種）
接種スケジュール	—	2か月以上の間隔を置いて2回接種 （1回目の接種から遅くとも6か月後までに2回目を接種することが望ましい。） ※病気や治療により、免疫の機能が低下した方、または低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。
接種費用自己負担額 （窓口で支払う額）	3, 1 0 0 円	1回の接種につき11, 0 0 0 円

※生活保護世帯の方は全額町で負担するため自己負担額はありません。

5 接種方法 下記医療機関に予約の上、予防接種を受けてください。

接種後は接種済証を受け取り、自己負担額を医療機関にお支払ください。

6 医療機関

医療機関	住所	電話番号	接種できるワクチン	
			生ワクチン	組換えワクチン
清水赤十字病院	清水町南2条2丁目	62-2513	×	○
前田クリニック	清水町南1条4丁目	62-2032	○	○
だい内科医院	清水町南4条4丁目	69-3555	○	○
御影診療所	清水町御影西2条3丁目	63-2320	○	○

※介護老人福祉施設等に入所している方や町外の医療機関に入院している方については、町外の施設や病院での接種についても一部町で負担しますので、入所している施設、病院にお問い合わせください。

7 その他

次頁の予防接種説明書をよく読み、接種による予防効果や副反応等について十分理解したうえで、医師と相談し接種をお願いいたします。

予防接種による带状疱疹ワクチンについて更に詳しく知りたい方は、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚生労働省ホームページ

厚労省 带状疱疹ワクチン

検 索



8 問合せ先 清水町役場 保健福祉課 健康推進係（電話0156-67-7320）

清水町帯状疱疹予防接種説明書（令和 7～11 年度）

帯状疱疹とは

帯状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

帯状疱疹は、70 歳代で発症する方が最も多くなっています。

対象となる方

- ① 年度内に65 歳を迎える方
- ② 60～64 歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方。
- ③ 令和 7 年度から令和11年度までの 5 年間の経過措置として、その年度内に70、75、80、85、90、95、100 歳（※）となる方も対象となります。
※ 100 歳以上の方については、令和 7 年度に限り全員対象となります。

帯状疱疹ワクチンとは

帯状疱疹ワクチンには生ワクチン（阪大微研：乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」）、組換えワクチン（GSK 社：シングリックス）の 2 種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK 社）
接種回数（接種方法）	1 回（皮下に接種）	2 回（筋肉内に接種）
接種スケジュール	—	通常、2 か月以上の間隔を置いて 2 回接種（1 回目の接種から遅くとも 6 か月後までに 2 回目を接種することが望ましい） ※病気や治療により、免疫の機能が低下した方、または低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を 1 か月まで短縮できます。
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種出来ません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後 3 か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後 6 か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

帯状疱疹ワクチンの効果

		生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK 社）
帯状疱疹に対するワクチンの効果（報告）	接種後 1 年時点	6 割程度の予防効果	9 割程度の予防効果
	接種後 5 年時点	4 割程度の予防効果	9 割程度の予防効果
	接種後 10 年時点	—	7 割程度の予防効果

※ 合併症の一つである、帯状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後 3 年時点で、生ワクチンは 6 割程度、組換えワクチンは 9 割以上と報告されています。

带状疱疹ワクチンの安全性

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK 社）
70%以上	—	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤* 筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感* 腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹* 悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛

*ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚労省にて作成

接種前に発熱を呈している方、重篤な急性疾患に罹っている方、それぞれの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方等はいずれのワクチンをも接種出来ません。

また、心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方、けいれんを起こしたことがある方、免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方、带状疱疹ワクチン（生ワクチン、組換えワクチン）の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方等はいずれのワクチンについても接種に注意が必要です。

他のワクチンとの同時接種・接種間隔

いずれの带状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、生ワクチン（阪大微研）については、他の生ワクチンと27 日以上の間隔を置いて接種してください。

接種を受けた後の注意点

ワクチンの接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。

注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。

当日の激しい運動は控えるようにしてください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすることはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込む時は、診察した医師、及び下記にご相談下さい。

【お問合せ先】 清水町保健福祉センター内 保健福祉課 健康推進係 電話 67-7320